

長尾支部の紹介

支会長 田村昭二

さぬき市のテーマである「いきいき、親自然、真健康、新創造都市」と云う香り高い文化都市建設に向けて、私達長尾支部もその一端を担い古里の伝統ある地域文化を守るべく努力を

エスタでは、土曜いきいきスクールの三味線部の子供達が僅か半年程の短期間の練習でしたが、数曲を合奏し大拍手を受けました。又、熊山太鼓の子供達も大人顔負けの曲打ちを披露し観客を魅了しました。最近ブームの子供囲碁、絵画、里山の自然探訪にも成果が上がっています。

更に、今回試みとして巡回パフォーマンスアトラクションがあり、和芸人池田たかしの曲芸

一方、文芸面での作品展では、一年間の活動成果を発表する場としての意気込みは大変なもので、力作が出品されました。

また、今年度、地域の自主運営として生れ変り教養と行動を身につけて、郷土文化の発展に寄与してまいりました。最近の新しい活動として、児童生徒の学校五日制を有意義に活用するため、「土曜いきいきスクール」と題

長年続けてきた公民館活動の習いごとが、人生の生き甲斐となり、活力となつて作品展会場は熱気に包まれていました。

又新たに、太極三味線舞会も加入してサークルが五十七団体の大世帯になり、公民館活動も活発になり公民館狭しの感じがしますが、お互い譲り合つて頑張っています。本年度の芸能フ

このように、文化協会は市民の生涯学習の場であり、お互いの限らない親交を育む場でもあり、このことが長年の願望でもあり、限りの活動成果を発表する場として、本年度の会員研修として、支部一日研修ツアーを計画し、神戸市立博物館の「大英博物館の至宝展」を見学することにしました。今後はさぬき市文化協会の大きな輪に合流し、住みよいまちづくりに参加し、全支部との親睦を深め協会発展のため微力ながら努力したいと考えています。

欠くことが出来ないで、巧みな剣捌きにも観客を釘づけにした感がありました。会場を広場に移動して演技されたジャズダンスは、親子の共演で、俊敏且つフレッシュであり、「世界に一つだけの花」では手話を組み込んだダンス演技に観客が魅了されたように感じた。特に共演した小さいお子さんの踊る仕草がかわいらしくて、時を忘れて見入っていました。これらの交流によって地域間の親睦と融和が深まると同時に、私達にも新たな視野が出来たことで、大変有意義だったと思います。

先述のように、三味線や太鼓等の演目に日頃の練習成果を一生懸命披露し芸能発表会を盛り上げたことは、今後の楽しみの一つになりました。芸能フェスタの出演者は二〇名で、演目は三十三を数え、和太鼓、銭太鼓、三味線、尺八、大正琴、日舞、エアロビクス、詩吟、コーラス、ダンス等で日頃の練習成果を熱演披露し終日楽しい一日になりました。芸能フェスタの最後にはお楽しみ抽選会もあり一喜一笑、盛会の中に幕を閉じました。回を重ねる毎に充実してきたように思います。



ながお銭太鼓、傘踊り

更に、今回試みとして巡回パフォーマンスアトラクションがあり、和芸人池田たかしの曲芸

関係各位のご尽力に感謝し、更なる発展を祈念して終筆と致します。



大川支部交流(芸能) ジャズダンス

作品展

市民の文化芸術の発表の場を提供することにより、文化意識の向上と愛好者の交流をはかり、地域文化の成熟と、より豊かな地域社会づくりに資することを目的として、輝け！あなたが主役のながお文化祭と銘打って、古里ながお文化祭実行委員会、さぬき市教育委員会主催で第二回さぬき市民文化祭古里ながおまつり作品展が十月二十五日、二十六日の二日間長尾小学校体育館で開催されました。

特に今回の作品展の目玉は大川支部との交流事業です。

文化協会大川支部から木目込み人形十一点と、押し花九点の交流作品が寄せられました。



さぬき市内文化祭交流

大川支部交流作品「木目込み人形」

美術・工芸部門

田村昭二

美術工芸部門は六分野、美術、工芸(一)、工芸(二)等で活動しており、支部の交流と振興を図り互いに協会の活性化を促進していきたいと思えます。

現在「二十一世紀館さんがわ」で分野別の作品展を催していますが、手狭なため「文化協会」の建設を切望致します。

この文化協会を核として、より一層の交流をはかり、活性化とレベルの向上につながるものと思えます。

描く喜び

松原哲也

スケッチをしていると、背後から「私も絵を描きたい、でも才能がないから」などと言葉をかけられる。私は何事もこう答える。「子供の頃に、時には貼り出されたり、上手に描けたネー」などと先生に言われた事を、ふと思い出して筆をとり、唯好きだと言う理由だけで描き続けているのです」と。私の仲間の殆んどがこつこつした人達です。

静物、人物も描きますが、屋外での風景のスケッチは自然と一体になって、増々描く喜びが湧いてきます。皆様も、一緒に絵を描いてみませんか。



児童生徒作品展

によって芸術レベルの高揚をはかるとともに、地域間の親睦を深めることで大変意識深いものがあったと思えます。今回、古里ながおまつり作品展に寄せられました作品は大川支部からの交流作品二十点をはじめ、文化協会加入団体以外の各種団体から出展があり、幼児生徒の作品全一四三七点、一般からの作品四九一点で総数一九二八点の出展がありました。作品はジャンル別に整然と華やかに展示され、出展者の工夫のあとがみられた。

作品は陶芸、絵画、盆栽、手芸、編物、文化財写真、押し花、木彫、書道、俳句、短歌、山の写真、児童生徒の工作、図画、硬筆、習字、少年育成センターからの標語など多岐に亘った。幼児生徒のかわい作品、手の込んだ力作、緻密な作品、心癒す作品、工夫を凝らした作品、名人芸の作品、共同で仕上げた大型作品、親子教室で仕上げた

水墨画・墨彩画によせて

宇山佳成

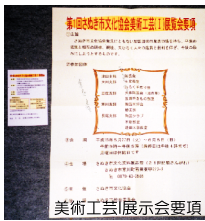
折り自正しい日本の四季、その情緒の豊かさを、言葉で語るのが詩と書です。水墨画と墨彩画は洋画のような華やかさはありません、しかし四季その時々々の海・山・森・川・そして心るさとの田園、その豊かな情景を墨の濃淡と筆の強弱、そして少しの彩りを加え、心をこめて描き語るのが、水墨画と墨彩画です。

さぬき市文化協会美術工芸部門には、現在五団体が加入しています。

第10回文化協会美術工芸展覧会について

川田和雄

平成十五年五月二十七日から六月八日まで二十一世紀館さんがわで、さぬき市文化協会の加入十団体の参加により陶芸、木工、木彫、七宝九十二点の出品を展示しました。全員参加が目標でしたが達成できず、お世話役として申し訳なく思っています。十六年度の第二回展は、すばらしい作品展になる事を念じています。



美術工芸展示会要項

芸能フェスタ

上述の作品展と同じ目標、主催で芸能フェスタが、秋も深まった十一月十六日長尾公民館で開催、同時に供養行事として「男の料理」と「食生活改善協議会」グループの協力を得てバザーもありました。今年の交流事業として作品展と同じ文化協会大川支部からの文化交流として、居合道演武に十二名、ジャズダンスに十四名の交流出演がありました。居合道では、より深い礼を身につけることが根本精神とされるため、演武における動き一つ一つに、心気力の一致が

手作りの彩の会 大山多津子

六月に二十一世紀館さんがわで手作りの彩の会作品展を開催しました。見ていただけでしょうか。「手作りの彩の会」は文化協会美術工芸(一)の名前です。アメリカフラワー、押し花、押し絵、ちぎりの絵、パッチワーク、草木染め、ドライフラワー、石膏粘土、木目込み人形等があります。作品には人の心が滲み込んでいます。思わず見惚れてしまします。作る楽しみと多くの友達に会える喜びを味わいませんか。



美術工芸品手作りの彩の会作品

書道部門の活動 西尾英一

さぬき市誕生を記念し関係者の努力で第一回さぬき市美術展覧会が十五年二月、二十一世紀館さんがわで開催され、市内在住で活躍している作家の選抜展となりました。十六年春に第二回展が同会場で開催されます。市内書道愛好者の発表の場は秋の文化祭です。本年度は初めての試みとして作品交流が実施され、他町の方の作品も鑑賞でき大変勉強になりました。